

## 鉄道車両の床材料の改良計画

## ○11月15日時点での該当事業者における改良計画

事業者名	対象車種	対象両数	交換完了予定時期
東武鉄道	8000系、9000系、10000系、50000系	528両	平成26年度上期
西武鉄道	101系、2000系、30000系	140両	平成24年度末
東京地下鉄	05系、7000系、8000系、9000系、10000系	528両	平成26年度末
東葉高速鉄道	2000系	110両	平成25年4月末
首都圏新都市鉄道	TX-2000系	24両	平成23年度末

計1,330両

## ○今回新たに判明した事業者

事業者名	対象車種	対象両数	交換完了予定時期
東日本旅客鉄道	E655系	5両	策定中
東京地下鉄	03系、05系（改造車両）、6000系、9000系（改造車両）	266両	策定中
東京都交通局	10-300形、12-000形	74両	策定中

計345両

国鉄技 第78号  
平成22年11月15日

各地方運輸局 鉄道部長 殿

国土交通省（内閣府のみ記載）  
鉄道局技術企画課長

### 鉄道車両の床材料の交換について

今般、一部の鉄道車両の床の上敷物において、製品の誤った使用等により、鉄道の技術基準に定める燃焼性規格（難燃性以上）を満たしていない事案が明らかとなった。（別紙参照）

については、貴管下鉄軌道事業者に対し、本件について情報提供を行い、注意喚起を図るとともに、上記事案に該当する鉄道事業者においては、該当車両の床材料の交換等の改良計画を策定して、平成22年12月15日までに報告するよう指導されたい。

なお、引き続き、調査を進めているところであり、追加の指示等を行うことがあり得るので、承知されたい。

なお、本件については、社団法人日本鉄道車輛工業会に対して、別添のとおり通達していることを申し添える。

床材料の誤使用等の調査結果  
(平成22年11月15日現在)

○アルミ材にゴム材を貼りつけて使用する製品が、ゴム材だけで使用され、  
燃焼性規格を満たしていなかったもの

鉄道車両用材料燃焼試験番号	事業者名	対象車種
14-332K	東武鉄道	8000系
16-156K	東京地下鉄	05系、7000系、8000系、9000系、10000系
	東葉高速鉄道	2000系
16-312K	東武鉄道	9000系、10000系、50000系
	西武鉄道	30000系
	首都圏新都市鉄道	TX-2000系

○燃焼試験を改めて実施した結果、燃焼性規格を満たしていなかったもの

鉄道車両用材料燃焼試験番号	事業者名	対象車種
19-678K	西武鉄道	101系、2000系